

今井 正和



副学長 (教育, 研究, 情報, 企画・評価担当)
人間形成教育センター長・教授

IMAI, Masakazu

所属…経営学部 経営学科
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

Profile

■主な担当科目 データベース

研究者略歴

1982 (昭和57) 年 3月	大阪大学基礎工学部制御工学科卒業
1984 (昭和59) 年 3月	大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程修了
1987 (昭和62) 年 3月	大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了
1987 (昭和62) 年 4月	大阪大学助手基礎工学部
1991 (平成 3) 年 7月	大阪大学講師基礎工学部
1993 (平成 5) 年 4月	奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授
1997 (平成 9) 年 9月	米国The University of Michigan客員助教授(～1998年7月)
2001 (平成13) 年 4月	鳥取環境大学環境情報学部情報システム学科教授
2003 (平成15) 年10月	放送大学客員教授(～2005年3月)
2005 (平成17) 年 4月	鳥取環境大学大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授
2012 (平成24) 年 4月	鳥取環境大学経営学部経営学科教授
2014 (平成26) 年 4月	鳥取環境大学人間形成教育センター センター長, 副学長補佐(教育・学生生活・就職担当)
2014 (平成26) 年 6月	鳥取環境大学情報メディアセンター 副センター長
2015 (平成27) 年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター センター長, 副学長補佐(教育担当, 学生生活・就職担当, 情報担当, 企画・評価担当), 人間形成教育センター センター長, 経営学部経営学科教授, 大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授
2016 (平成28) 年 4月	公立鳥取環境大学副学長(教育担当, 学生生活・就職担当, 情報担当, 企画・評価担当), 人間形成教育センター センター長, 経営学部経営学科教授, 大学院環境経営研究科経営学専攻教授
2017 (平成29) 年 4月	公立鳥取環境大学副学長(教育, 研究, 情報, 企画・評価担当), 人間形成教育センター センター長, 経営学部経営学科教授, 大学院環境経営研究科経営学専攻教授

Research

■取得学位 工学博士(大阪大学)

■専門分野 インターネット応用, 環境計測, デジタルアーカイブ

■現在の研究テーマ
・ネットワークを使用した密な気象データの収集
・ネットワークを用いた場の共有
・情報の蓄積と活用

■受賞歴
1996 (平成 8) 年3月 電子情報通信学会第7回データ工学ワークショップ (DEWS' 96) 最優秀論文賞
2004 (平成16) 年9月 電子情報通信学会情報システムソフトウェア活動功労賞
2007 (平成19) 年1月 JGN2利用促進賞(地域貢献優秀賞)
(JBプロジェクト, 地域間相互接続実験プロジェクトⅡ)
2008 (平成20) 年1月 JGN2アワード地域貢献・人材育成賞
(JBプロジェクト, 地域間相互接続実験プロジェクトⅡ)
2015 (平成27) 年6月 中国情報通信懇談会 地域情報化貢献賞

■所属学会 IEEE, 電子情報通信学会, 情報処理学会, 人工知能学会, システム制御情報学会, 日本情報考古学会

Data

研究等活動

【著書】

- ・「第15話 ロボコップの作り方ー脳とコンピュータの違い」, 地球環境時代のIT読本, 2002年, 丸善(共著)
- ・「第4章 電子図書館と分散大規模ネットワーク」, 電子図書館とマルチメディア・ネットワーク, 1996年12月, 日本図書館協会(共著)

【論文】

- ・「Implementation of high-definition lecture recording system for daily use」(共著), 2013年, Proc. of EDUCON2013, pp. 510-525
- ・「Live E!を活用した小学生の理科学習を支援するシステム」(共著), 2012年, インターネットコンファレンス2012論文集, pp.115-116
- ・「クラウド時代のデータ保存」(単著), 2012年, 印刷雑誌, Vol. 95, No. 3, pp.7-12
- ・「クラウド時代にどのようにデータを保存し, 残していくか」, 2011年, 画像4学会合同研究会「画像資産の復元と伝承」
- ・「講義ビデオの活用に向けた講義音声の発話特徴分析」(共著), 2011年, 情報処理学会教育学習支援情報システム研究会
- ・「鳥取-熊本間での講義ビデオ遠隔自動収録の試みについて」(共著), 2010年, 情報処理学会教育学習支援情報システム研究会
- ・「Live E!データ可視化アプリケーションの開発」(共著), 2009年, 電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会
- ・「Live E!センサの日南町への展開」(共著), 2009年, 電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会
- ・「空間的に密な温度変化を計測するシステムの構築」(共著), 2009年, 電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会
- ・「センサ設置場所が計測結果に与える影響」(共著), 2008年, 電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会
- ・「考古学写真のメタデータとそのデータベース構築への応用」(単著), 2008年, 情報処理学会デジタルドキュメント研究会
- ・「鳥取環境大学のセンサ設置についてー一日向のセンサ日陰のセンサー」(共著), 2007年, Live E! シンポジウム2007
- ・「メタデータを用いた考古学遺跡写真ライブラリの構築」(共著), 2007年, 日本情報考古学会誌「情報考古学」, Vol. 13, No. 1
- ・「地域ネットワークを利用した高校への遠隔授業」(単著), 2007年, 第8回 インターネットテクノロジーワークショップ
- ・「考古学写真デジタルライブラリ」(共著), 2007年, 第8回 インターネットテクノロジーワークショップ
- ・「An Experiment Using JGN v6 at Tottori University of Environmental Studies」(共著), 2004年, Proc. of SAINT 2004 Workshops
- ・「Hand Pose Estimation for Vision-based Human Interfaces」(共著), 2003年, IEEE Transactions on Industrial Electronics, Vol. 50, No. 4
- ・「考古学遺跡写真ライブラリの構築」(共著), 2002年, 日本情報考古学会誌「情報考古学」, Vol. 7, No. 2

社会貢献活動

- ・鳥取県ICT活用教育推進協議会座長(2014年)
- ・鳥取市公文書管理のあり方等研究会委員長(2015年)
- ・鳥取県私立学校審議会会長(2016年～)
- ・鳥取市公文書管理検討委員会委員長(2016年～)
- ・鳥取市特定個人情報保護評価審査会(2017年～)

吉田 聡

YOSHIDA, Satoru



副学長補佐(教育, 研究, 情報, 企画・評価担当),
人間形成教育センター 副センター長
准教授

所属…人間形成教育センター

<http://misc.kankyo-u.ac.jp/~satoru-y/>

Profile

■ **主な担当科目** 微分積分学, 線形代数学, 数理基礎

■ 研究者略歴

2003 (平成15) 年 3月	北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程 修了
2003 (平成15) 年 4月	石川県立松任高等学校臨時的任用講師
2005 (平成17) 年 8月	産業技術総合研究所・産総研特別研究員
2009 (平成21) 年 8月	鳥取環境大学情報システム学科講師
2013 (平成25) 年10月～	鳥取環境大学人間形成教育センター准教授
2018 (平成30) 年 4月	公立鳥取環境大学情報メディアセンター副センター長
2020 (令和 2) 年 4月	公立鳥取環境大学副学長補佐
2021 (令和 3) 年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター副センター長

Research

■ **取得学位** 博士(情報科学) (北陸先端科学技術大学院大学)

■ **専門分野** 数理論理学

■ **現在の研究テーマ** ・ 解析学理論の計算可能性の研究
・ 数理的技法によるコンピュータシステムの検証に関する研究

■ **所属学会** 日本数学会, 日本科学哲学会

Data

■ 研究等活動

【報告書】

- ・ 「A note on continuity properties of relations」(共著), 2019年, Rep. Fac. Sci. (鹿児島大学), No.52, pp.1-6.
- ・ 「On a certain discontinuous mapping as a continuous relation」(共著), 2018年, 京都大学数理解析研究所講究録2083, 150-155.
- ・ 「ソフトウェア更新システムプロトコルの様相論理S4に基づく検証」, 2016年, 公立鳥取環境大学紀要, vol. 14, pp.95-103.

【口頭発表】

- ・ 「関係の各点連続性と点列連続性」, 2020年2月, 第7回山陰基礎論・解析学研究集会, 米子コンベンションセンター.
- ・ 「システム開発の基盤となる能力育成への大学教育の試み」, 2017年9月, Tsukuba Software Science Seminar, 産業技術総合研究所.
- ・ 「構成的数学の体系と実践」, 2017年6月, 第179回数学文献を読む会, 共立出版社.
- ・ 「様相論理S4に基づくプロトコル検証」, 2016年8月, 第27回代数, 論理, 幾何と情報科学研究集会(ALGI), 信州大学.
- ・ 「D-Case による SysML の説明力向上を目指して」(共著), 2015年10月, 信学技報, vol. 115, no. 281, KBSE2015-38, pp. 13-16.
- ・ 「構成的解析学における超関数からなる空間の位相について」, 2013年9月, SLAGICS 2013, 京都大学数理解析研究所.
- ・ 「構成的数学の体系とその実践」, 2013年3月, 数学の形式化に関する研究集会(主催:九州大学数理学府グローバルCOEプログラム「マス・フォア・インダストリ教育研究拠点」), アクロス福岡.

■ 社会貢献活動

- ・ 鳥取大学地域創成プログラム推進委員, 2020年度.
- ・ 鳥取県立八頭高等学校「探求ゼミ」講師, 2016～2020年度, 鳥取県立高等学校・大学教員交流事業.
- ・ 鳥取県中高生プログラミングコンテスト(主催:鳥取県情報産業協会)審査員, 2013～2019年度.
- ・ 八頭町指定管理選定委員, 2018年度.

ベゴール・ベッティーナ



教授

Bettina BEGOLE

所属…人間形成教育センター

✉ begole@kankyo-u.ac.jp

Profile

■ **主な担当科目** Advanced English courses (Advanced English, English Writing, Applied English Writing)

■ **研究者略歴**

1981 (昭和56) 年 11月	米国ミズーリ州立中央大学 (Central Missouri State University) レクリエーション・保養と野外教育文学士
1990 (平成 2) 年 8月	倉敷市教育委員会英語指導助手 (～ 1998年)
1996 (平成 8) 年 3月	米国バーモント州S.I.T.大学(神戸キャンパス) 英語教育修士
1998 (平成10) 年 4月	鳥取NHK文化センター英会話教師, 子供の英語教師
2001 (平成13) 年 4月	鳥取環境大学非常勤講師(2002年4月～2006年3月 英語特任講師)
2006 (平成18) 年 2月	鳥取県国際交流財団翻訳・通訳者
2006 (平成18) 年 4月	鳥取大学非常勤講師
2009 (平成21) 年 9月	鳥取環境大学人間形成教育センター准教授
2015 (平成27) 年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター准教授
2019 (平成31) 年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター教授

Research

■ **取得学位** 文学修士 (外国語として英語教育法/TESOL) (S.I.T., Kobe Campus)

■ **専門分野** 英語教育, 多読

■ **現在の研究テーマ**

- ・ 英語能力を向上させるための多読に関する研究
- ・ 外国語として英語教育 (TEFL) に関する研究
- ・ 英語教育に関する研究

■ **所属学会** JALT(全国語学教育学会)
JALT鳥取支部役員
JACET(Japan Association of College English Teachers)

■ **資格** 日本赤十字社救急指導員

Data

■ **研究等活動**

【著書】

- ・ [Welcome to Intensive English, 2017年, TUES
- ・ [Welcome to Intensive English] (単著) 2016年, TUES
- ・ [Welcome to Intensive English] (単著) 2015年, TUES
- ・ [Welcome to Intensive English] (単著) 2014年, TUES
- ・ [Welcome to Intensive English and Your Reading and Writing Class] (単著), 2013年, TUES
- ・ [Introduction to Intensive English: Your Reading and Writing Class] (単著), 2012年 (初版), TUES
- ・ [TUES Intensive English Practical English B, Reading and Writing] (単著), 2011年(2版), TUES

【報告書】

- ・ Extensive Reading in the Language Classroom: A literature review 「語学授業における多読：研究レビュー」 (共著), 2017年, 公立鳥取環境大学紀要 15号
- ・ 多読による英語教育—その効果と今後の課題—Extensive Reading in English Education:Efficacy and Future Challenges (共著), 2015年, 公立鳥取環境大学紀要 13号
- ・ 「英語の自由作文における学生の文法精度に関する長期的な考察」 A Longitudinal Study of Students' Grammatical Accuracy during Their Production of Unscripted English (共著), 2014年, 公立鳥取環境大学紀要 12号
- ・ 「インテンシブ・イングリッシュ履修一年後における英検スコア変動に関する報告書」 A Short Report on Changes in Students' Eiken Test Scores after One Year of Intensive English (共著), 2012年, 鳥取環境大学紀要 10号
- ・ Extensive Reading with Low-level Students; Problems, Solutions, and Results, JACET Summer Seminar Proceedings No. 11; Advanced EFL and ESP Reading (単著), 2013年2月
- ・ 「英語読解能力と英文作成能力を向上させるための多読 Using Extensive Reading to Improve Students' English Reading and Writing: A Preliminary Report」 (単著), 2012年, 鳥取環境大学紀要 9号
- ・ 「鳥取環境大学のインテンシブ・イングリッシュ (IE) 過去, 現在, そして未来」 (単著), 2010年, 鳥取環境大学紀要 8号
- ・ 「Don't Teach Swimming from the Pool Deck」 (単著), 2010年, 鳥取環境大学紀要 8号

■ **社会貢献活動**

- ・ 鳥取県教育委員会外国語指導助手の指導力等向上研修会, Active Learning: What is it, and what can we do?, 講義・演習, 2019年12月
- ・ 鳥取県教育委員会高校英語弁論大会, 審査長, 2020年9月
- ・ 鳥取県教育委員会高校英語弁論大会, 審査長, 2019年9月
- ・ 鳥取ハーナウ友好親善協会, 理事, 2018年～
- ・ 中国地域高等学校英語弁論大会, 審査長, 2018年11月
- ・ 教員免許書更新講習 (英語) ワークショップ, Growth Mindset and Active Learning in the English Classroom, 2020年8月
- ・ 教員免許書更新講習 (英語) ワークショップ, Growth Mindset and Active Learning in the English Classroom, 2019年8月
- ・ 教員免許書更新講習 (英語) ワークショップ, Growth Mindset and Active Learning in the English Classroom, 2018年8月
- ・ コンピューターを活用したロール・プレイング・ゲームによる, 環境的, 経済的な課題へのアクティブ・ラーニングの適用, 全国語学教育学会鳥取支部, 2018年1月
- ・ 鳥取県教育委員会高校英語弁論大会, 審査長, 2017年9月
- ・ 教員免許書更新講習 (英語) ワークショップ, Active Learning in the English Classroom, 2017年8月
- ・ 教員免許書更新講習 (英語) ワークショップ, 2016年8月
- ・ 鳥取県外国語指導助手及び外国語担当教員中間期研修会(Getting Along in the Workplace) 2015年12月
- ・ 教員免許書更新講習 (英語) ワークショップ, 2015年8月
- ・ 鳥取県外国語指導助手及び外国語担当教員中間期研修会 (Motivating Students)2014年12月
- ・ 教員免許書更新講習 (英語) ワークショップ, 2014年8月

徳山 瑞文

TOKUYAMA, Mizufumi



教授

所属…人間形成教育センター

 tokuyama@kankyo-u.ac.jp

Profile

■ 主な担当科目 Intensive English (リーディングとライティング, リスニングとスピーキング)

研究者略歴

1987 (昭和62) 年 7月 中国東北師範大学外国語学部英語学科卒業

1987 (昭和62) 年 7月 中国吉林省教育学院 英語教師

1999 (平成11) 年 4月 鳥取県立青谷高等学校にて日本文部省JETプログラムの外国語助手 (ALT)

2003 (平成15) 年 3月 鳥取大学大学院教育学部教育学研究科教科英語教育修了

2003 (平成15) 年 4月 鳥取環境大学 英語非常勤講師

2017 (平成29) 年 4月 鳥取環境大学 英語特任講師

2019 (平成31) 年 4月 公立鳥取環境大学 人間形成教育センター 教授

Research

■ 取得学位 教科教育修士 (鳥取大学)

■ 専門分野 英語教育

■ 現在の研究テーマ

- ・日本人の英語勉強法に関する研究
第二言語としての英語標準勉強法を確立させていけば、英語に対してのコンプレックスがなくなって英語教育に興味を抱くのではないだろうか。
- ・英語能力の尺度「CEFR」に関する研究
「CEFR」は欧州内で他国とのコミュニケーションが重視されて、外国語勉強の評価共通基準として、2001年から導入しています。文部科学省は2020年度から始まる大学入学共通テストで「読む・聞く・書く・話す」という英語の4技能を測る民間試験の活用が見送られたが、2021年の大学共通テストは、使える英語を意識させている。英語を使う人が自分の能力がどのレベルに達しているかわかるように、「CEFR」は活用すれば、現在の政府が示す中高生英語能力の水準に到達出来る可能性があるのではないだろうか。

■ 受賞歴 1998年9月 中国吉林省教育学院 青年優秀教師賞

■ 所属学会 日本全国英語教育学会, 中国地区英語教育学会

■ 資格 中国大学教師資格

Data

研究等活動

【論文】

・「English Education of the New Century in Japan -- Examination of ALT's Functions through the Analyses of Junior High School New Textbooks and the New Strategies of English Education」, 2003年, 「鳥取大学英語研究」第4号

【報告書】

・「Is It Necessary to Use "All English" for the Classes of ESL?」2015年, 中国地区英語教育学会

社会貢献活動

・2013年1月から2017年3月の間, 鳥取NHK文化センターにて英会話教室教師

中村 弘子

NAKAMURA, Hiroko



准教授

所属…人間形成教育センター

URL www.kankyo-u.ac.jp/~h-nakamu/

E-Mail h-nakamu@kankyo-u.ac.jp

Profile

■ 主な担当科目 Intensive English

■ 研究者略歴

1985 (昭和60) 年 3月	神戸市外国語大学外国語学部英米学科卒業
1988 (昭和63) 年 3月	神戸市外国語大学大学院外国語学専攻修士課程英語学専攻修了
1988 (昭和63) 年 8月	米国イリノイ州立南イリノイ大学大学院修士課程言語障害学専攻入学
1989 (平成 元) 年 6月	国際ロータリー財団の奨学金給付期間終了後帰国
1990 (平成 2) 年 4月	パルモア学院専門学校専任教員
1991 (平成 3) 年 4月	大阪外国語大学外国語学部非常勤講師
2000 (平成11) 年 4月	宇都宮大学国際学部非常勤講師
2002 (平成14) 年 4月	筑波大学外国語センター非常勤講師
2003 (平成15) 年 9月	米国コネチカット州立コネチカット大学コミュニケーション・サイエンス研究科修士課程入学
2004 (平成16) 年 6月	米国コネチカット州立コネチカット大学コミュニケーション・サイエンス研究科修士課程修了
2009 (平成21) 年 9月	鳥取環境大学人間形成教育センター准教授
2015 (平成27) 年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター准教授

Research

■ 取得学位 文学修士 (神戸市外国語大学), Master of Arts (コネチカット大学)

■ 専門分野 英語教育, 応用言語学, 言語障害

■ 現在の研究テーマ

- ・日本人のコミュニケーション不安と外国語学習不安
- ・日本人のコミュニケーション不安に関する音響学的分析
- ・言語リズムの習得と母語の干渉について

■ 受賞歴 1988年 国際ロータリー財団大学院留学奨学生

■ 所属学会 大学英語教育学会, 外国語教育メディア学会, 日本音声学会, ことばの科学会

■ 資格 実用英語技能検定1級, TOEIC®スコア950点, 高等学校教諭専修免許状 (英語)

Data

■ 研究等活動

【著書】

- ・「大学・高専・短大生のための英文法再入門」(分担執筆), 2019年, 開拓社
- ・「文法基礎知識と英文読解力の向上」, (2018)『英語学論説資料』第50号 論説資料保存会
- ・「一語文期における母国語の影響に関する一考察—bye-bye vocalizationの日米比較」(分担執筆), 『ことばの心理と学習』1998年, 金星堂

【論文】

- ・"An acoustic study of communication apprehension during English oral presentations by Japanese university students" (共著), 2020, English Language Teaching, 13 (8), 178-184.
- ・「文法基礎知識と英文読解力の向上」, (2018)『英語学論説資料』第50号 論説資料保存会
- ・「母語でのコミュニケーション不安が英語学習に及ぼす影響について」, 2016, 『ことばの科学研究』第16号
- ・"A comparative study of vocal fundamental frequency in the speech of Japanese and American hearing-impaired children" (共著), 2006年, *Logopaedics, Phoniatrics, Vocology*, Volume 31, pp. 1-6.
- ・"L1 communication apprehension and L2 oral proficiency in Japanese university students" 2006年, 『外国語教育論集』第28号, pp. 199-207, 筑波大学外国語センター
- ・"Effect of ambient language in the period of first words: bye-bye vocalizations of Japanese and American children" (共著), 2000年, *Asia-Pacific Journal of speech, language, and volume* 5, 1, pp.35-43.

【報告書】

- ・「コミュニケーション不安と英語教育」, 2012年, 『鳥取環境大学紀要』第9号・第10号合併号, pp.127-129.
- ・「文法基礎知識と英文読解力の向上」, 2016年, 『公立鳥取環境大学紀要』第14号, pp. 89-93.

【翻訳】

- ・「人間の動機づけと感情における認知」(分担執筆), 2002年, 『感情の社会生理心理学』金子書房

【辞典】

- ・「スピーキングのモデル」「サーキットモデル」「ロゴジェンモデル」「サーチモデル」他, 2003年, 『応用言語学辞典』, 研究社

【国際会議】

- ・"FO Analysis for the Oral Presentation in English by Japanese University Students", 2017年, Asian Pacific Conference on Speech, Language and Hearing, International University of Health and Welfare, Narita, Japan
- ・"Communication Apprehension and L2 Learning Anxiety in Japanese, Korean, and Taiwanese University Students"(共著), 2013年, Asian Pacific Conference on Speech, Language and Hearing, Chung Shan Medical University, Taichung City, Taiwan
- ・"L1 Communication Apprehension among Asian University Students", 2011年, Asian Pacific Conference on Speech, Language and Hearing, University of Canterbury, Christchurch, New Zealand
- ・"A comparative study of vocal fundamental frequency: Japanese and American hearing-impaired children" (共著), 2007年, Canterbury Conference on Communication Disorders, University of Canterbury, Christchurch, New Zealand

■ 社会貢献活動

- ・放送大学鳥取学習センター面接授業担当 (2019年11月～12月)
- ・「授業に役立つ英語音声学」, 2014年～2020年, 8月, 教員免許更新講習
- ・「TOEICセミナー」, 2012年10月～11月, 2014年9月, 2016年, 8月～9月, 2019年, 9月, 2021年, 2月～3月, 公立鳥取環境大学公開講座
- ・第30回兵庫県高校生英語スピーチコンテスト但馬支部予選審査委員長, 2015年10月
- ・「東アジアの英語教育とコミュニケーション不安について」, 2015年7月, 鳥取大学グローバル化社会における多文化共生のための協働力養成プログラム
- ・「国際奉仕月間フォーラム」, 2014年2月, 国際ロータリー第2660地区大阪城南ロータリークラブ
- ・「東アジアの英語教育とコミュニケーション不安」, 2012年5月, 鳥取市民大学国際理解講座
- ・公益信託とりぎん青い鳥基金運営委員 (2014年9月～2020年3月)

バンヴィル ショーン

BANVILLE, Sean



特任准教授

所属…人間形成教育センター

URL <https://breakingnewsenglish.com/>

banville@kankyo-u.ac.jp

Profile

■ 主な担当科目	インテンシブ英語1 (スピーキングとリスニング), インテンシブ英語2 (リーディングとライティング), インテンシブ英語5 (スピーキングとリスニング)
■ 研究者略歴	
1987 (昭和62) 年 6月	カーディフ大学, ウェールズ, UK 卒業 (学士: 会計学)
1993 (平成 5) 年 7月	ブリティッシュカウンシル, トルコ 卒業
1994 (平成 6) 年 1月	エンサイクロピーディア プリタニカ (神戸) 入社 (ナショナル ティーチャー トレーナー, スクールマネージャー)
1998 (平成10) 年 1月	プリンスフォード イングリッシュ カレッジ (大阪) 入社 カリキュラムデザイン, カレッジマネージャー, ティーチャートレーナー
2003 (平成15) 年 9月	バーミンガム大学 イギリス 修了 (修士: TEFL/TESL)
2006 (平成18) 年 1月	Higher Colleges of Technology ファンデーションコース チームリーダー アブダビ女子大学・カリキュラムデザイン, オンラインレッスン アラブ首長国連邦・ブレンディッドラーニング チームリーダー
2016 (平成28) 年 4月	公立鳥取環境大学 非常勤講師
2016 (平成28) 年 4月	鳥取大学 非常勤講師
2020 (令和 2) 年 4月	公立鳥取環境大学 人間形成教育センター 特任准教授

Research

■ 取得学位	会計学 (学士) (カーディフ大学 ウェールズ) TEFL/TESL (修士) (バーミンガム大学 イギリス)
■ 専門分野	英語教育
■ 現在の研究テーマ	How a Discourse Intonation approach can advance communicative pronunciation and communicative competence and performance.
■ 受賞歴	Nominated for ブリティッシュ・カウンシル award for Innovation in Learner Resources
■ 所属学会	Japanese Association of Language Teachers (JALT)
■ 資格	RSA CTEFLA

Data

■ 研究等活動	
【著書】	<ul style="list-style-type: none"> 「Breaking News Listening Student Book」 (共著) Nobuhiro Kumai, Stephen Timson, Sean Banville, 2010年, MacMillan Language House 「Bringing News Into The Classroom」, 2010年, Finding Your Voice: Critical Issues in ELT. TESOL Arabia Publications
【開発した教材等】	<p>Breaking News English.com</p> <ol style="list-style-type: none"> https://BreakingNewsEnglish.com 時事ニュースを基にした2,850+の4技能インタラクティブレッスンと27ページのワークシート。 https://ESLDiscussions.com 709のトピックに関するディスカッションのプリント (14180の質問含む)。 https://ESLHolidayLessons.com 世界の祝日についての199のレッスン。 https://FamousPeopleLessons.com 有名人についての167の4技能レッスン。 https://ListenAMinute.com 1分のリスニング教材を基にした479のレッスン。 http://www.NewsEnglishLessons.com http://www.FreeESLMaterials.com http://www.LessonsOnMovies.com 映画についての4技能レッスン https://BusinessEnglishMaterials.com 世界の企業についての102の4技能レッスン。 http://www.LessonsOnAmericanPresidents.com アメリカの歴代大統領についての4技能レッスン。

■ 社会貢献活動

私は2012年から毎年、村のコミュニティプロジェクトの一環として、5月に田植え、9月に米の収穫を手伝っています。ここで収穫された米はケニアの孤児院に送られます。鳥取大学のG_FRENZクラブの学生も年に2回参加しています。私は彼らが田植えや収穫活動を楽しめるように心がけています。
今年4月より、私が住む集落の子供達を対象に毎週土曜日、ボランティアで英会話を教えています。
ブリティッシュカウンシルより「Innovation in Learner Resources」(学習教材の革新)部門で受賞しました。

市丸 夏樹

ICHIMARU, Natsuki



准教授

所属…人間形成教育センター

URL <http://misc.kankyo-u.ac.jp/~ichimaru/>

E-mail ichimaru@kankyo-u.ac.jp

Profile

■ **主な担当科目** 情報リテラシ1・2, プロジェクト研究1～7, (経営学部)専門演習1～3

■ 研究者略歴

1990 (平成 2) 年 3月	九州大学工学部電子工学科卒業
1992 (平成 4) 年 3月	九州大学大学院総合理工学研究科情報システム学専攻 博士前期課程修了
1995 (平成 7) 年 3月	九州大学大学院総合理工学研究科博士後期課程単位取得退学
1995 (平成 7) 年 4月	九州大学工学部情報工学科助手
1998 (平成10) 年 4月	九州大学大学院システム情報科学府兼任
2006 (平成18) 年 4月	鳥取環境大学環境情報学部情報システム学科講師
2007 (平成19) 年 4月	鳥取環境大学大学院環境情報学研究科環境情報学専攻情報システム領域兼務
2008 (平成20) 年 4月	鳥取環境大学環境情報学部情報システム学科准教授
2012 (平成24) 年 4月～	鳥取環境大学人間形成教育センター准教授
2015 (平成27) 年 4月～	公立鳥取環境大学人間形成教育センター准教授

Research

■ **取得学位** 博士 (工学) (九州大学)

■ **専門分野** 自然言語処理, 計算言語学

■ **現在の研究テーマ**

- ・ 統計的言語モデル
- ・ 日本語の短縮入力方式
- ・ 未知語の生成モデル
- ・ 自動要約
- ・ テキスト解析

■ **所属学会** 人工知能学会, 情報処理学会

Data

■ 研究等活動

【論文】

- ・ "Thesaurus Granularity and its effects on the Kana/Kanji Transliteration of Japanese Derivative Words", 2013年9月, In proceedings of the *International Conference of Pacific Association for Computational Linguistics* PACLING2013, Sep3-7, CDROM.
- ・ 「要約文の話題の流れの最大化による自動要約」(共著), 2005年11月, 「自然言語処理」特集号「質問応答, 自動要約」, Vol. 12, No. 6, pp. 45-61.
- ・ 「シソーラスブラウザxthesにおけるDAG構造の描画アルゴリズムとその評価」, 2005年9月, 九州大学システム情報科学研究院紀要, Vol. 10, No. 2, pp. 97-102.

久保 奨

KUBO, Susumu



准教授

所属…人間形成教育センター, 経営学部 経営学科

s-kubo@kankyo-u.ac.jp

Profile

■主な担当科目 情報リテラシ2, データ・マイニング

■研究者略歴

- 2003 (平成15) 年 3月 東京大学工学部物理工学科卒業
- 2005 (平成17) 年 3月 東京大学大学院数理科学研究科数理科学専攻修士課程修了
- 2005 (平成17) 年 4月 総務省 (統計局, 総合通信基盤局など. 内閣府などにも出向~ 2020年6月)
- 2018 (平成30) 年 3月 東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程修了, 博士 (学術)
- 2020 (令和 2) 年 7月 公立鳥取環境大学人間形成教育センター准教授 (~現在)
- 2021 (令和 3) 年 4月 公立鳥取環境大学経営学部経営学科准教授 (~現在)

Research

■取得学位 博士 (学術) (東京大学)

■専門分野 オペレーションズ・リサーチ, 応用数学, 統計学

■現在の研究テーマ

- ・マックスプラス代数を用いたスケジューリング問題の理論的研究
- ・マックスプラス代数の性質に関する研究
- ・公的統計に関する研究

■所属学会 日本応用数理学会, 日本数学会

Data

■研究等活動

【論文】

- ・「An algebraic expression of the number partitioning problem」(共著), 2020年, Discrete Applied Mathematics, Volume 285
- ・「Basic r-symmetric tropical polynomials」, 2019年, Journal of Pure and Applied Algebra, Volume 223
- ・「Applications of max-plus algebra to flow shop scheduling problems」(共著), 2018年, Discrete Applied Mathematics, Volume 247

【報告書】

- ・「Re-engineering the Japanese Statistical System」(共著), 2012年, The OECD Statistics Newsletter, Issue 57

【口頭発表】

- ・「max-plus代数とスケジューリング問題」(共著), 2018年, 日本応用数理学会年会
- ・「max-plus代数における基本的な対称式」, 2015年, 神戸大学神戸可積分系セミナー
- ・「The Quality Assurance Framework in Japan」(共著), 2012年, European Conference on Quality in Official Statistics (Q2012)
- ・「代数方程式の超離散化」, 2009年, 青山学院大学青山数理セミナー
- ・「小地域推計と労働力調査への適用」(共著), 2006年, 統計関連学会連合大会

■社会貢献活動

- ・県立高校・大学教員の教員交流事業 (青谷高校での授業), 2020年, 鳥取県
- ・八頭町庁舎建設等検討委員会会長, 2020年度, 八頭町
- ・鳥取県小中高生プログラミングコンテスト最終審査委員, 2020年, 一般社団法人鳥取県情報産業協会
- ・統計検定CBT委員会分科会委員, 2019年~, 一般財団法人統計質保証推進協会
- ・「消費生活に関するパネル調査研究会」メンバー, 2015年, 公益財団法人家計経済研究所

小杉 卓裕

KOSUGI, Takahiro



講師

所属…人間形成教育センター, 環境学部 環境学科, 経営学部 経営学科

URL <https://researchmap.jp/7000021015>

Profile

■ 主な担当科目 微分積分学, 線形代数学

■ 研究者略歴

- 2012 (平成24) 年 3月 東北大学理学部数学科卒業
- 2014 (平成26) 年 3月 東北大学大学院理学研究科数学専攻博士課程前期2年の課程修了
- 2017 (平成29) 年 3月 東北大学大学院理学研究科数学専攻博士課程後期3年の課程修了
- 2017 (平成29) 年 4月 日本学術振興会特別研究員 (PD)
- 2018 (平成30) 年 4月 福岡工業大学工学部知能機械工学科ポスドク研究員
- 2020 (令和 2) 年 4月 公立鳥取環境大学人間形成教育センター講師

Research

■ 取得学位 博士 (理学) (東北大学)

■ 専門分野 偏微分方程式論, ロボティクス

■ 現在の研究テーマ

- ・最適制御から現れるような完全非線形偏微分方程式に対する粘性解理論
- ・筋骨格システムに対するフィードフォワード制御可能性, 受動歩行ロボットの安定歩行条件等ロボティクスに現れる力学系の解析

■ 受賞歴 2017 (平成29) 年3月 博士論文川井賞 (公益財団法人川井数理科学財団)

■ 所属学会 日本数学会, 日本ロボット学会

Data

■ 研究等活動

【論文】

- ・「Equivalence of viscosity solutions between obstacle and gradient constraint problems」, 2020年, Funkcialaj Ekvacioj
- ・「Stability conditions of an ODE arising in human motion and its numerical simulation」 (共著), 2019年, Results in Applied Mathematics
- ・「経路点を有する1リンク2筋骨格システムにおけるポテンシャル解析」 (共著), 2019年, 第24回ロボティクスシンポジウム講演論文集
- ・「On the rate of convergence of solutions in free boundary problems via penalization」 (共著), 2018年, Journal of Mathematical Analysis and Applications
- ・「Maximum principle for Pucci equations with sublinear growth in Du and its applications」 (共著), 2017年, Nonlinear Analysis
- ・「Remarks on the comparison principle for quasilinear PDE with no zeroth order terms」 (共著), 2015年, Communications on Pure and Applied Analysis

【国際会議発表】

- ・「Rate of convergence of approximate solutions for obstacle problems」, 2017年7月, Viscosity solution approach to asymptotic problems in front propagation, dynamical system and related topics, Kyoto University
- ・「Equivalence between viscosity solutions of an obstacle problem and a gradient constraint problem」, 2017年2月, The 18th Northeastern Symposium on Mathematical Analysis, Tohoku University
- ・「Comparison principle for fully nonlinear equations involving the p-Laplace equation」, 2016年1月, East Asian Core Doctoral Forum on Mathematics 2016, Fudan University

【研究会組織】

- ・国内研究会「鳥取PDE研究会」, 2020年11月23-24日, 鳥取市
- ・国際会議「Viscosity Solutions and Related Topics」 (共同), 2018年11月22-24日, 仙台市

【外部資金獲得状況】

- ・科研費 (若手研究) 「準線形偏微分方程式とその自由境界問題に対する粘性解理論及びその応用」 (代表者), 2018-2021年度
- ・科研費 (特別研究員奨励費) 「準線形偏微分方程式の理論とその応用」 (代表者), 2016-2017年度
- ・科研費 (基盤研究(B)) 「完全非線形方程式の粘性解の正則性理論とその応用」 (分担者), 2020-2024年度

■ 社会貢献活動

- ・高岡第一高等学校特別進学コース進路講習会 講師 (2018年9月14日)